

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 7 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 5 年 2 月 7 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美 (会計年度職員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会 (1 月 1 1 日開催) の報告</p> <p>2 第 5 9 回東京都公民館研究大会に参加して</p> <p>3 令和 5 年度公民館予算について</p> <p>4 企画実行委員連絡会について</p> <p>5 各講座の計画</p> <p>〔計画〕〔令和 4 年度〕市民講座「私の、家族の、高齢期への 備えを考えよう“成年後見制度”を学ぶ」、成人学校 「植物分類学者 牧野富太郎の生涯」</p> <p>〔令和 5 年度〕 高齢者学級「けやき学級」、成人学校「初めてのソロ キャンプ」</p> <p>5 その他 なし</p> <p>次回の日程 令和 5 年 3 月 7 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 公民館貫井南分館学習室 B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（令和5年1月11日）の報告

(1) 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

令和4年度第8回都公連委員部会運営委員会（定例会）が昨年11月24日に、第9回が12月22日に国分寺市本多公民館で開催。主な協議事項は、第59回東京都公民館研究大会の参加者は全11市で60名位となったこと、公民館調査内容について、Wi-Fi設置状況報告他、市報、月刊誌での活動報告等を行った。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から、高齢者学級「けやき学級」、市民講座「怒る人も怒れない人にも役立つ大人のアンガーマネジメント」・「山本有三を知る」、成人学校「ノルディック・ウォークを始めよう」・「楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編」・「水引細工で彩る 松竹梅の正月飾り」を提出、質疑なし。

(2) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館から成人学校「植物分類学者 牧野富太郎の生涯」、音楽鑑賞のつどい・スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」を提出。質疑なし。北分館の「プラネタリウム解説員が語る星空のお話」について、疑似プラネタリウムとはとの質問に、空気で膨らますドーム型の物で、内部で星空を投影する北町ホール内で実施すると説明があった。

(3) 協議事項

ア 小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について ※館内見学及び野外施設（調理場、テニスコート）見学を実施

施設の老朽化、民家と近い（環境が設置当時だいぶ変わった）ため考えかを変えることも、市全体として所管課との連携は等意見が出された。サウンディングでも意見（空調、電気、雨漏りの改修）を頂いているので利用者に不便のないようにしたいと事務局から回答した。今後の進め方として、1月19日までに更に意見を頂き、月末までに肉付けしたもの（第2段のたたき台）を示すこととした。

(4) その他

・公民館施設の有料化について

33期、35期の答申に加え、減免、コスト、使い道を整理する。

・今後のスケジュールについて

2 第59回東京都公民館研究大会に参加して

2月4日（土）午後1時から4分科会会場（小平市2か所、西東京市、国分寺市）で研究大会が開催された。大きなテーマ「コロナ禍を乗り越え 進化する公民館」として、池谷美衣子さん（東海大学教授）の基調講演をお聞きし、その後、分科会毎のテーマに沿って事例報告、グループ討議、助言者の講評から質疑応答という流れで行われた。コロナ禍でグループ討議の3年ぶり、全体時間も短い中での開催とあって、どの会場も駆け足での運営となったようであった。その中で第3課題別集会の「地域課題をどうやって捉えるのか」では、静岡県浜松市富塚協働センター職員の地域課題を捉えることから解決へのアプローチ方法は、とても面白かったとの参加した高橋委員の感想が出された。その中で、地域課題を見つけるには「何気ない対話から」や、声、要望、提案などを「カタチ」にすることこそ職員の腕の見せどころなど興味深い話しが聞くことができたとの感想もありとても有意義であったとのことであった。

3 令和5年度公民館予算について

1月に予算内示が出され、貫井南分館ではセンターまつりの講師謝礼が1人から3人分となったこと、また、高齢者学級での野外学習に伴うバス運行委託料が要求額に達しなかったが県外への移動は可能と見込まれることなどを説明した。

4 企画実行委員連絡会について

本日2月7日（火）午後2時から東分館を会場として行われる中で、貫井南分館は映像を使用し、令和4年度押しの3講座（成人学校「楽しくトレッキング新緑・紅葉編」、成人学校「ボディメイク教室」、市民講座「男のための掃除道入門」）の紹介を行う。事前に担当委員には画像と仮のコメントでイメージを掴んでもらい、コメント修正を行ってもらうこととなり、本日の午後の発表に臨んでもらうこととなった。

5 各講座の計画

【計 画】

〔令和4年度〕

○市民講座「私の、家族の、高齢期への備えを考えよう“成年後見制度”を学ぶ」

2月17日（金）午前10時から実施予定。応募状況は、募集20人に対し、

18人（男性8人、女性10人）となっている。応募者の地域別も各町からの参加となっている。

○成人学校「植物分類学者 牧野富太郎の生涯」

3月5日（日）午前10時から正午に実施予定。2月1日の応募開始午前9時から受け付け、1時間かからず20人に達したため、30人に増やし対応、即日で満員となった。男性12人、女性18人。60から80歳代が応募の大半を占めた。町別も各町からの参加となった。

○音楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート 東京学芸大学ウインドアンサンブル」

3月12日（日）午後1時30分開演予定。2月15日から応募開始となる。

〔令和5年度〕

○高齢者学級「けやき学級」

カリキュラムの調整状況は、後半始めの講義「プラスチックの行方」及び東京農工大科学博物館見学は、実施が難しく代替案の中から金ヶ江委員と協議のうえ、「朗読会」、見学の行先は小平市にあるガスミュージアムとなった。また、7月5日予定の「俳句でリフレッシュ」についても現代俳句協会から派遣講師が決定した。講師未決定は11月1日「近年の異常気象と防災」で、派遣事業所のスケジュール待ちとなっている。

○成人学校「初めてのソロキャンプ」

6月4日（日）午前10時から正午に公民館貫井南分館学習室及び園庭で実施予定。講師2人の決定が一般財団法人日本オートキャンプ協会から連絡があった。今後、打ち合わせを行っていくこととなる。

5 その他 なし

次回の日程（予定） 令和5年3月7日（火）午前9時30分～ 学習室B

第36期小金井市公民館運営審議会 第12回審議会の報告

(令和5年1月11日開催・公民館緑分館学習室A・B・C)

1 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

令和4年度第8回都公連委員部会運営委員会(定例会)が令和4年11月24日(木)に、第9回が同年12月22日(木)に国分寺市本多公民館で開催。主な協議事項は第59回東京都公民館研究大会の参加者は全11市で60名位となったこと、公民館調査内容についてはWi-Fi設置の公民館は小金井市が多く5館全館での設置は他市の公民館以上であった。その他では、市報、公民館月刊誌での活動報告等を行った。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から、高齢者学級「けやき学級」、市民講座「怒る人も怒れない人にも役立つ大人のアンガーマネジメント」・「山本有三を知る」、成人学校「ノルディック・ウォークを始めよう」・「楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編」・「水引細工で彩る松竹梅の正月飾り」を提出、質疑なし。

2 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館から成人学校「植物分類学者 牧野富太郎の生涯」、音楽鑑賞のつどい・スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」を提出。質疑なし。北分館の「プラネタリウム解説員が語る星空のお話」について、疑似プラネタリウムとはとの質問に空気で膨らますドーム型の物で、内部で星空を投影する北町ホール内で実施すると説明があった。

3 協議事項

ア 小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について ※館内見学及び野外施設(調理場、テニスコート)見学を実施

施設の老朽化、民家と近い(環境が設置当時だいぶ変わった)ため考えかを変えることも、市全体として所管課との連携は等意見が出された。サウンディングでも意見(空調、電気、雨漏りの改修)を頂いているので利用者に不便のないようにしたいと事務局から回答した。今後の進め方として、1月19日までに更に意見を頂き、月末までに肉付けしたもの(第2段のたたき台)を示すこととした。

4 その他

ア 公民館施設の有料化について

33期、35期の答申に加え、減免、コスト、使い道を整理する。

イ 今後のスケジュールについて

次回の日程 令和5年3月8日(水) 午前10時から市役所第二庁舎801会議室

第 59 回東京都公民館研究大会 基調講演 R4.2.4 (土)

「コロナ禍を乗り越え 進化する公民館」

講師：池谷美衣子さん（東海大学教授）

「進化」の意味をどう捉えるか。

成長・改善・進歩ではなく、「新種の誕生」 しかし「絶滅」もありうる。

コロナを「なかったこと」にしない。

コロナ前に戻ることを目指さない。⇒ このことは、共有したい。変わっていきたい。

コロナを「なかったこと」にしないために、一緒に考えたいこと

コロナ禍での経験から、公民館は何に気づいたのか？

この気づきを、どのように公民館の「進化」につなげるのか？

視点 1：事業と対象

【新たな事業形態】

オンラインの活用、「集まらない事業」という発想

神奈川県平塚市の例：自宅で学習した成果物を公民館で報告（写真と文書を掲示）

：公民館の外にあるフェンスを活用した展示（〃）

【施設の外への視野の広がり】

・“来館者ありき”に依存した運営のリスク。

⇒ 現場の気づき（全国 10 市公民館アンケート）

来館者ゼロの状態でも、存在価値を発揮できる公民館であらねばならない。

気づき 1：来館者中心の発想を問い直す。

これまでの公民館は？

○公民館に来ることができる人たち

○社会教育・地域活動に関わることができる人たち

これを

◎公民館に来ない／来られない人たちにも、公民館の対象とする。

◎地域の中で「忘れられた人々」（見過ごされたきた人）は誰？

を対象としていくのは、大変難しい!!

公民館に来れなくなった時に、縁が切れたと考えるのはどうか!?

なぜ、公民館は視野を広げなければならないのか？

公民館・社会教育は、生活・人生をより良くすることを支える基盤だから。

視点 2：施設運営と職員

公民館の価値を問い直しながら、学びを通じて積極的に対応しようとする姿勢がコロナ禍で職員に問われた。

気づき 2：公民館（職員）の自立的判断を育む ⇒ 自治体間での違い、自治体内施設間での違いの発生から、組織的・計画的研修を考え直す。

視点 3：世界共通課題

コロナが終わった時に、この地域だけに戻るのはもったいない。

⇒ 地域と世界を繋ぎ、世界共通課題の解決にともに取り組む拠点が公民館では？

まとめ

コロナを「なかったこと」にしないために

コロナ禍での経験から、公民館は何に気づいたのか？

気づき 1：来館者中心の発想を問い直す。

気づき 2：公民館職員の自律的判断を育む

気づき 3：地域に閉じない公民館のあり方を模索する。

「地域課題をどうやって捉えるか」 西東京市柳沢公民館視聴覚室

事例報告「みんな笑顔のまちづくり～実現への秘策～」

野嶋京登さん (浜松市富塚協働センター主任 コミュニティ担当)

助言者 田中雅文さん (日本女子大学人間社会学部教育学科教授)

富塚公民館 ⇒ 富塚協働センター (静岡県浜松市) 名称変更

野嶋さんは前職、化粧品会社の営業マン

そもそも職員の役割とは ⇒ 地域の課題解決 地域の魅力発信

「皆を笑顔にする」まちづくり

市民と顔見知りになる。⇒ 誰かのために何かをやってやろう。って気持ちになる。

地域コミュニティの原点は、楽しい時間を共有すること。

面白くないと人は来ない。

では、どのように地域課題を捉えるか？ それは「なにげない対話」

魅力的な活動や職員の個性が想像以上に重要！

ステップ1 エリア特性を知る。

ステップ2 声・要望・提案などを受ける。

ステップ3 声・要望・提案などを「カタチ」にする。⇒ 職員の腕の見せ所

ステップ4 相互交流・みんなのために何かやろう！

事例 パーラー公民館での研修 沖縄県那覇市若狭公民館から学んだこと

箱ものにこだわらず、外に出る。 あおぞら協働センター開催

集まった人たちが何か起こるのが面白い。たまたま、マジシャンがいた。

「出会い」を大事にしてほしい。

その他の事例：ゴミフェスタ、富ックオアストリート、富用品市「ピタゴラス」

蚊取り線香を真ん中から火を付けると、輪が広がっていく発想

声・要望をカタチにして実現！

ワクワク感やドキドキ感を与えていますか？

なにより人との「つながり」が大切！

思い立ったら、即行動！ ただし、計画は緻密にすること！

その後、グループワーク お題「ワクワク・ドキドキの企画をしてみよう。」 8グループ

田中教授の感想

- ・公民館は公民館だけに留まることはない。
- ・何もしないことで、何かが起こるのも面白い。
- ・自分がワクワクしなければ
- ・蚊取り線香の中心に子どもを置く。

- ・一人でなく、人が集まれば何か
- ・キャッチコピーが重要かも

企画実行委員の会議（R4.2.7） 資料

成人学校「植物分類学者 牧野富太郎の生涯」

実施日 3月5日（日）10：00～12：00

応募状況：申込初日で満員。 募集 20人⇒30人に変更

男性 12人 女性 18人

60歳代 5人、70歳代 20人、80歳代 5人

東町 3人、緑町 8人、中町 2人、前原町 6人、本町 4人、

桜町 2人、貫井北町 1人、貫井南町 4人

※資料は 20日までにデータでもらえる。

市民講座「私の、家族の、高齢期への備え 成年後見制度を学ぶ」

実施日 2月17日（金）10：00～12：00

応募状況 2/7 現在 募集 20人

応募 18人（男性 8人 女性 10人）

東町 2人、梶野町 1人、緑町 2人、中町 1人、前原町 1人、

本町 3人、貫井北町 5人、貫井南町 3人

成人学校「初めてのソロキャンプ」

実施日 6月4日（日）10：00～12：00

講師 木村淳志さん（一般財団法人 日本オートキャンプ協会認定インストラクター）

芹江雅貴さん（ 〃 ）

打合せ 2月中にオンラインで行う。

市報 5月1日号 月刊こうみんかん 5月号

●高齢者学級「けやき学級」カリキュラムについて

打ち合わせ

日時 1月19日（木）10時～12時

出席者 伊藤、松本、金ヶ江

- ・「プラスチックの行方～家庭から海洋へ～」(9/6 予定)

講師：高田秀重先生（東京農工大学教授）

- ・農工大学科学博物館見学（9/13 予定）

※高田先生が時期的に学会等と重なっていて不可。

併せて科学博物館見学も対応不可の回答。

代替案

- ・口腔ケア
- ・腸活
- ・骨粗しょう症
- ・朗読劇
- ・カラーコーディネイト
- ・住まいと暮らしの整理術

- ・朗読劇（武蔵野朗読会）9/6

講師：長谷川葉月さん（武蔵野朗読会主宰）

1/30（月）に伊藤から長谷川さんへ改めて連絡をし、確認済。

- ・東京ガスミュージアム見学（小平市）9/13

※農工大学科学博物館見学の代替

- ・「俳句でリフレッシュ」（7/5 予定）について

※現代俳句協会へ講師依頼をしていたが、1/20（金）に回答あり。

講師：川名 大（かわな はじめ）さん

俳人、近現代俳句研究者、現代俳句協会役員、第22回現代俳句大賞受賞

1/30（月）に伊藤から川名さんへ連絡。

- ・「近年の異常気象と防災」（11/1 予定）について

近日中に年間スケジュールが決定との回答で、連絡待ち（1/31 メール着）